

令和2年度 第1回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

○日時 令和2年7月27日（月）13時30分～15時00分

○場所 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室

○出席者 内山委員、阿保委員、田澤委員、佐藤（陽）委員、佐藤（八）委員、小館委員、小田桐委員、藤岡委員、椛澤委員、三橋委員、太田委員、安東委員、米谷委員

○欠席者 渡部委員
（委員14名のうち13名出席）

○事務局 櫻田市長、
森岡市民生活部長、福士環境課長、成田町田事業所長、山内環境課長補佐
佐藤資源循環係長、藤田廃棄物政策係長、
成田廃棄物政策係総括主査、安田廃棄物政策係主査、齊藤廃棄物政策係主事

○内 容

1 開 会（進行：山内環境課長補佐）

2 市長挨拶

3 諮問書提出

4 会 議（進行：内山会長）

（1）【案件1】弘前市一般廃棄物処理基本計画改訂について

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・SDGsの考えやビジョンを取り入れてみては。
→上位計画である市総合計画にSDGsの考えが取り入れられており、それを基にしているが、よりわかりやすくするため、本計画にも反映させる。
- ・協定締結とか団体への啓発は大事だが、一般の市民の方たちにしっかりと認識してもらわないと減量化につなげていけない。
→コロナ感染拡大に配慮しつつ、昨年度から実施している市町会連合との協働によるワークショップ型勉強会を進めていきたい。
- ・団体との協定締結によってオフィス町内会の加入促進が図られたりするので、それに関わる業界団体にその都度協定の情報提供をいただきたい。
→今後、情報共有を進めていきたい。

(2) 【案件2】「ミニ・キエーロ」モニター募集について

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

・「ミニ・キエーロ」を使い続けると土の量は増えないのか。

→水と二酸化炭素に分解されるので、土の量は増えない。

・「ミニ・キエーロ」は半永久的に使えるのか。

→容器の耐久性によるが、5年以上は使える。土も分解能力は落ちないと思われるので、経年でどの程度土の量が減っていくのか、細かい点はもう少し検証が必要。

・ごみステーションに置いて皆が生ごみを持って行くというような構想はあるか。

→各家庭で使用してもらう前提だが、水を入れてかき混ぜる作業があったりするので、多くの世帯で利用してもらえるよう、更に検討が必要。まずは各戸で楽しみながら使っていただくことを想定している。

(3) 【案件3】「リユース促進掲示板」について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

・写真をもっと載せた方が良い（どういうものかしっかり見たいと思うので）。

→よりわかりやすく伝わりやすい仕組みでやっていきたい。

5 課長挨拶

6 閉 会（進行：山内環境課長補佐）

○資 料

・【資料1】弘前市一般廃棄物処理基本計画改訂について

・【資料2】「ミニ・キエーロ」モニター募集について

・【資料3】「リユース促進掲示板」について

・【別 添】「弘前市一般廃棄物処理基本計画改訂素案」、「なごみ生活」

○公開・非公開の区分 「公開」